

日本人はなぜ AI に好意的なのか

○田中辰雄 (Tatsuo TANAKA)

Keywords : AI、生成系 AI、テクノアニミズム、長期安定雇用、

要旨

日本が欧米に比べて AI に対して好意的な傾向がある。その理由をサーベイによって検討した。検討したのは雇用安定説、アニミズム説、アトムどらえもん説の3つである。雇用安定説は、長期安定雇用の日本企業では、人々は AI によって当面の仕事がなくなっても配置転換されるだけで解雇されないため AI を警戒せず受け入れるという説である。サーベイによれば雇用が安定している大企業並びに日本企業に勤務する人ほど AI に好意的であり、この仮説に適合的な結果が得られた。アトムどらえもん説は、国民的キャラクターであった鉄腕アトムとドラえもんに触れていたことで、日本人は AI に友好的な気持ちを育てていたという説である。サーベイしてみると、アトムとドラえもんに愛着を持つ人ほど AI に好意的であることがわかり、この説も支持された。アニミズム説は、日本は山・岩・大木などの自然物に魂を見出すアニミズムの思想があり、これが AI のような人間ならざるものが人間のようにふるまう事への違和感を弱め、好意的な気持ちを育てているという説である。この説はそのままでは検証されなかった。しかし、アニミズムには自然物に宿った魂に親しむ面ばかりではなく、大木を切ると祟りがあるなど宿った魂を恐れる面もある。この二つの面を分離してやると、前者は AI に好意的な評価を、後者は警戒的な評価を生み出していた。アニミズムは AI と無関係ではなく、好意的な面と警戒的な面を共に強める点で両義的である。

文献

- 池内裕美、2010、「成人のアニミズム的思考:自発的喪失としてのモノ供養の心理」社会心理学研究 第 25 巻第 3 号 pp167-177
- 呉羽真、2021、「日本人とロボット --テクノアニミズム論への批判」 Contemporary and Applied Philosophy 13, pp62-82 <https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/265441>
- 経済産業省、2018、「DX レポート ～IT システム「2025 年の崖」克服と DX の本格的な展開～」 https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_transformation/20180907_report.html
- 高橋利枝、2019、「人工知能とロボットがもたらす社会的インパクトー「ヒューマン・ファースト・イノベーション」に向けて」、情報システム学会誌 Vol. 14, No. 2 pp7-17 https://www.issj.net/journal/jissj/Vol14_No2_Open/S2V14N2.pdf
- 高橋優子. 2020. 「宗教文化と伴侶動物の病理解剖数の関係——日本とアメリカの比較」. 『宗教研究』 93(別冊): 389-390
- 田中辰雄、2010、「日本企業のソフトウェア選択と生産性-カスタムソフトウェア対パッケージソフトウェア」 RIETI Discussion Paper Series 10-J-027 <https://core.ac.uk/download/pdf/6358504.pdf>
- 中嶋秀朗. 2018. 『ロボット——それは人類の敵か、味方か』. ダイヤモンド社.

他